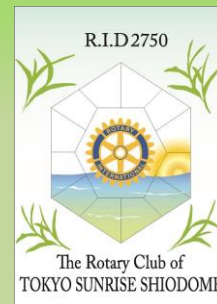


◆ WEEKLY REPORT ◆



ロータリーは機会の扉を開く
R.I.会長 ホルガー・クナーク

R.I.D.2750 Chiyoda & Pacific
Basin Group
The Rotary Club of
TOKYO SUNRISE SHIODOME



2020-21 年度 会長 山本直道
クラブテーマ「MY TOKYO SUNRISE」

No.249 22. Apr. 2021 発行

第256回 例会

【日時】2021年4月15日(木) 12:30~13:30
【例会場】ザ ロイヤルパークホテル アイコニック 東京汐留
【例会出席】会員数 17名 名誉会員 6名 【出席者】8名 ビジター 0名 ゲスト 2名
【出席率】47.0% 【修正出席率】76.0%
【ニコニコBOX】¥7,000—

《プログラム》

- 司 会：大日方真会員
山本直道会長
- ◇ 開会点鐘
 - ◇ 斉唱：「それでこそロータリー」
 - ◇ 会長挨拶
山本直道会長
本年度、残す所3ヶ月弱となりまして、コロナ禍で中々思い通りに活動が進んでいないように思い、もっとクラブの為に何か出来ないかと思っております。
 - ◇ 幹事報告
山本直道会長
名刺の注文をされたい方は事務局までご連絡をお願いします。
 - ◇ ビジター・ゲスト挨拶
加藤数人様：初めまして。井本さんとお仕事をさせて頂いて、お話を聞きたいなと思い参加させて頂きました。医療業界で井本さんと動いていまして、ブロックチェーンを活用した迅速かつ安全にデータ共有することで救える命を救いたいという理念の元やっております。宜しくお願いします。
 - ◇ 出席報告
大日方真会員
 - ◇ にこにこBOX
立堀佳男会員
山本直道：井本様、本日の卓話、楽しみにしております。
熊谷行裕：今日は仕事の関係で例会は欠席になりすみません。井本様、本日の卓話有難うございます。私は今日は仕事で卓話を聞けないので残念ですが、後で週報などで読ませてもらい、勉強させて頂きたいと思っております。宜しくお願いします。
立堀佳男：本業の仕事はぼちぼちですが、私本人の仕事はかなり暇です。どうしよう！
板橋一成：井本様、今日の卓話を楽しみにしています。ブロックチェーンについて分かり易く教えて頂ければ有難いです。

◆ 会長：山本直道 ◆ 幹事：熊谷行裕 ◆ 副会長：愛知とし子【発行責任者】山本教夫
【創立】2014年10月15日【例会日】毎週木曜日 12:30~13:30【例会場】ザ ロイヤルパークホテル東京汐留
〒160-0022 東京都新宿区新宿 6-18-3 (南エルーデ内) / TEL:03-6380-5798 / FAX:03-6273-1196
【URL】<http://suns-rc.org/> 【E-mail】office@suns-rc.org

◇ 卓話『ビジネスを革新させるブロックチェーンの基礎と本質』

スタンダードトランザクション株式会社 代表取締役 井本 勝 様

よく仮想通貨とブロックチェーンが混同されて話されることが多いのですが、これは全く別物です。ブロックチェーンは我々人類史上初めて成し遂げる事で共存脅威をし始めたのが紀元前 1500 年前位と言われています。物々交換という取引の中で信頼・信用というものが軸となって取引が成立していました。ブロックチェーンを使うとこの信用が必要なくなるというものです。ブロックチェーンというのは裏側の内容でして、世の中で実装されていないのではなく割と大手企業でも取り入れられてきています。

そもそもブロックチェーンとは何かというと、定義としては状態です。情報の集合体と別の情報の集合体と結びついている、その結びつきが何かで保障されている状態をブロックチェーンと定義しています。例えば会社内で稟議書を通す場合、それぞれの部署で印鑑が押されていきます。最終的に社長の手元に届いた時に、その印鑑が押されているのを見てその書類が信用されて作った本人にわざわざ確認しなくても良いようになっていますが、印鑑は社内で通用するのであって、他社との、更には国をまたいだ時にそれが通用するものではなくなってきます。ブロックチェーンという仕組みは、「1 + 1 = 2」であるように「信用」でなく「検証」が出来るという技術なのです。信用というもので運用されているものが本当に君がやったのかという事が立証できる環境が作れるのです。これがどれだけすごい事かという、例えば金融の話になりますが、オンライン化が進んでいますが、裏は全て人がやっています。デジタルでやり取りをしているだけで、裏では全て人が関与しています。人が関与して物事が進むと、その間にはやはり人と人のコミュニケーションや信頼が必要となってきます。この間の作業をずさんに扱おうと不正に繋がったりするわけです。しかしブロックチェーンを使うとこれがなくなります。もし不正を行おうとすると、データが整齊されなかったりデバイスが拒絶されアクセスが出来なくなってしまうたりとそんな仕組みが出来ます。ブロックチェーン上でやり取りをしているという事は、既に検証が終わった状態で不正が無いという状態でデータで出てくるのです。ですので確認する必要もないのです。今まで業務で沢山の人が関わっていたものを、メールを送るくらいのコストで抑えることが出来る仕組みになっています。私としてはお金と時間にゆとりが有る当たり前が出来て、皆さんが社会的にストレスが無く、新しい事を考えたり将来何か出来ないかと思って日々精進しております。



井本 勝 様



◇ 講評

山本直道会長

井本様有難うございました。検証可能で置き換えていくという事で、とても衝撃を受けました。感覚でしか受け止められないレベルですが。こういった事をお若い世代でお仕事として世間を変えていくという意気込みでいらっしゃるのに感銘を受けました。僭越ながら応援させて頂きたいと思えます。

◇ 開会点鐘



山本直道会長



山本教夫会員



加藤数人様



五十嵐豊会員

《今後の主な行事予定》

- ◇ 5月26日 地区大会

《今後の例会スケジュール》

- ◇ 4月22日 12:30~13:30
- ◇ 4月29日 休会
- ◇ 5月 6日 休会